

北海道 150 年事業実行委員会
設立趣意書

2018 年（平成 30 年）に、「北海道」命名 150 年目を迎えます。

本道はかつて蝦夷地と呼ばれていましたが、1869 年（明治 2 年）の 7 月 17 日に、松浦武四郎が「北加伊道」を含む 6 つの名前を候補とする意見書を明治政府に提案し、同年 8 月 15 日、太政官布告によって「北海道」と命名されました。

北海道 150 年を契機として、積み重ねてきた歴史や先人の偉業を振り返り、感謝し、道民・企業・団体など様々な主体が一体となってマイルストーン（通過点としての節目）として祝うとともに、未来を展望しながら、互いを認め合う共生の社会を目指して、次の 50 年に向けた北海道づくりに継承する記念事業を展開したいと考えております。

道民一人ひとりが、新しい北海道を自分達の手で創っていく気概を持ち、北海道の誇るべき価値を共有し、国内外に発信することによって、文化や経済など様々な交流を広げていきたいと考えております。

つきましては、道民をはじめ、北海道を愛する世界中の人達とともに事業を推進するため、実行委員会の設立についてご理解を賜りますとともに、格別のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成 28 年 11 月 7 日

北海道 150 年事業実行委員会設立発起人

北海道知事

高橋 はるみ

北海道経済連合会

会長

高橋 賢友

（一社）北海道商工会議所連合会

会頭

高向 巖